

市民交流センター（市民図書館） 運営のあり方検討中間報告

－ 多くの市民に図書館を利用していただくために －

平成 30 年 9 月
あり方検討会



シオーモ絵本まつり

市民交流センター(市民図書館)あり方検討報告

目 次

()内はページ

A. 市民図書館の利用状況

- I. 市民図書館の貸出者数等の推移 (1)
- II. 市民図書館利用者アンケート調査から (2)

B. 市民へのアプローチ強化策

- 実施項目表 (3)

C. 市民へのアプローチ強化策

- I. 本と出会える書架づくり (4)
- II. 本と人をつなぐ多様な事業 (6)
- III. カウンター対応の充実 (8)
- IV. 市民に届く情報発信 (9)
- V. 市民を支援する図書館
 - 1. 幼児、児童と本をつなぐ (11)
 - 2. 中学生、高校生と本をつなぐ(ヤングアダルト) (12)
 - 3. 小中学校との連携 (13)
 - 4. 世代の課題等へ対処する市民への支援 (14)
 - 5. 地域資料の収集と活用 (15)
- VI. 図書館事業の基盤となる蔵書構築 (16)
- VII. 居心地の良い図書館づくり (17)

D. 図書館サービス実施に係る手順、方法の蓄積 (19)

市民図書館の事業運営のあり方・概念図

A. 市民図書館の利用状況
I. 市民図書館の貸出者数等の推移

I. 市民図書館の貸出者数等の推移

市民図書館の貸出者数、貸出点数は10年前の3分の2程度になっている。利用者増に向けて様々な努力を重ねているが、更なる手立てを講じるが必要になっている。

1. 貸出者数の推移

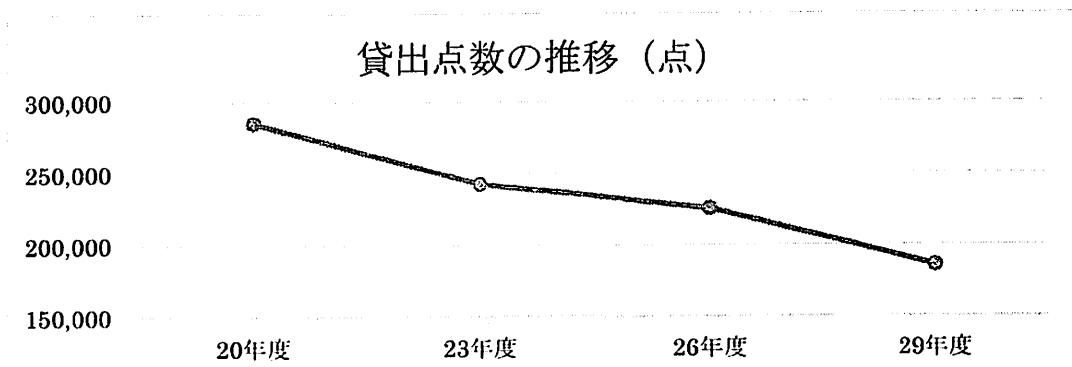
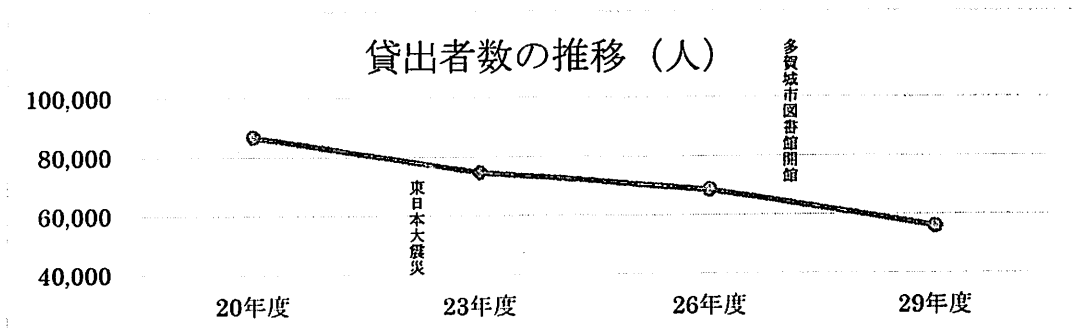
・10年前と比較し66%まで減少した。

年度	本館	移動図書館	本館計	指数	エスブ	合計
20	65,321	2,598	67,919	100	18,863	86,782
23	53,509	2,133	55,642	84	19,090	74,732
26	50,718	1,970	52,688	78	15,850	68,538
29	42,137	2,585	44,722	66	11,307	56,029

2. 貸出点数の推移

・10年前と比較し64%まで減少した。

年度	本館	移動図書館	本館計	指数	エスブ	合計
20	223,857	20,517	244,374	100	41,053	285,427
23	179,246	20,020	199,266	86	43,497	242,763
26	170,121	17,078	187,199	77	38,345	225,544
29	142,176	15,302	157,478	64	28,297	185,775



A. 市民図書館の利用状況
II. 市民図書館利用者アンケート調査から

II. 市民図書館利用者アンケート調査から

市民図書館利用者アンケート調査を実施し、利用状況、利用満足度等を調査した。

1)実施期間 平成30年2月17日から3月11日 2)回答数 326名

1. 市民図書館全体の満足度

項 目	[満足]+[やや満足] (%)	[不満]+[やや不満] (%)
全体としての満足度	■■■■■ 67 (前年67)	8

2. 市民図書館の満足度について

全8項目中、前年度調査とほぼ同じ、あるいは上回った数値が多かった。

一方で、「行事の充実度」、「広報、PR活動」、は満足度が11及び8ポイント減少している。

項 目	[満足]+[やや満足] (%)	[不満]+[やや不満] (%)
1. 本、CDなどの充実度	■■■■■ 69 (前年66)	9
2. 本、CDなどの探しやすさ	■■■■■ 67 (68)	6
3. 予約サービス	■■■■■ 48 (53)	3
4. おはなし会など図書館行事の充実度	■■■■■ 37 (48)	2
5. レファレンスサービス	■■■■■ 48 (45)	3
6. 商用データベースサービス	■■■■■ 26 (27)	3
7. 施設の快適さ	■■■■■ 64 (58)	8
8. 図書館の広報、PR活動	■■■■■ 41 (50)	5

3. 今後、市民図書館で充実させてほしいサービスは何ですか

最も多かったのは、駐車場サービスの充実の155名であった。希望駐車時間では、1時間が51名、2時間が50名であった。

次に、開館時間の延長を73名が希望している。延長時間帯では、9時からの開館を希望する意見が48%と多かった。回答者の半数以上が60歳以上であったことが反映していると思われる。

また、所蔵資料の充実を求める方が46名あり、視聴覚資料の充実を望む意見も多かった。

選 択 項 目	回 答 数 (人)
1. 駐車場サービス	■■■■■ 155
2. 開館時間の延長	■■■■■ 73
3. 開館日の拡大	■■■■■ 62

B. 市民へのアプローチ強化策項目表

利用者数等の増加を図るため、検討会において、市民へのアプローチ強化策の項目出しを行った。項目出しは、「既登録者の貸出冊数を増やす」視点と、「有効登録者数を増やす」視点から行い、出された項目を大きく7つの分野に集約した。

【実施項目表】

市民へのアプローチ強化策 実施項目	A. 既登録者への アプローチ策 既登録者の貸出 冊数を増やす視 点	B. 共通項目	C. 未利用者への アプローチ策 有効登録者数を 増やす視点
1. 本と出会える書架づくり	●		
2. 本と人とをつなぐ多様な事業 の実施			●
3. カウンター対応の充実	●		
4. 市民に届く情報発信			●
5. 市民を支援する図書館			●
6. 図書及び資料の構築と更新		●	
7. 居心地の良い図書館づくり		●	

I. 本と出会える書架づくりの推進

- ・本と利用者をつなぐために、より一層、本探しを楽しめる書架、探しやすい書架、本を読むきっかけに出会える書架づくりを進めます。

1. 基本となる書架づくり（日本十進分類法による配架）

- ア. 図書館の最もスタンダードな分類法である日本十進分類法による配架順を基本とする
- イ. 細分類による表示を加える
- ウ. 通常書架内のテーマ書架的展示

【十進分類法】

- ・分類 総記、哲学、歴史、社会科学、自然科学、etc
- ・例 芸術美術の下位分類 彫刻、絵画、版画、写真、工芸、音楽、etc
- ・例 絵画の下位分類 日本画、東洋画、洋画、絵画材料.技法、etc
- ・例 洋画の下位分類 古代(オリエント、ギリシア、ローマ)、中世、etc

2. テーマ展示を行う書架やコーナーの設置

十進分類法による展示では分類別に分散されている関連図書を、あるテーマを設けて集約展示することにより、関心の連鎖や新たな気づきを誘発させ、本との出会いをつくる。

ア. 展示するテーマの設定

地域 時事問題 世代の課題 市政の課題 季節に即したのもの 等

イ. テーマ企画意図の表記

テーマの企画意図や展示図書選択の視点を表記することにより、本との出会いを誘導する。

ウ. ブックリストの作成と配布

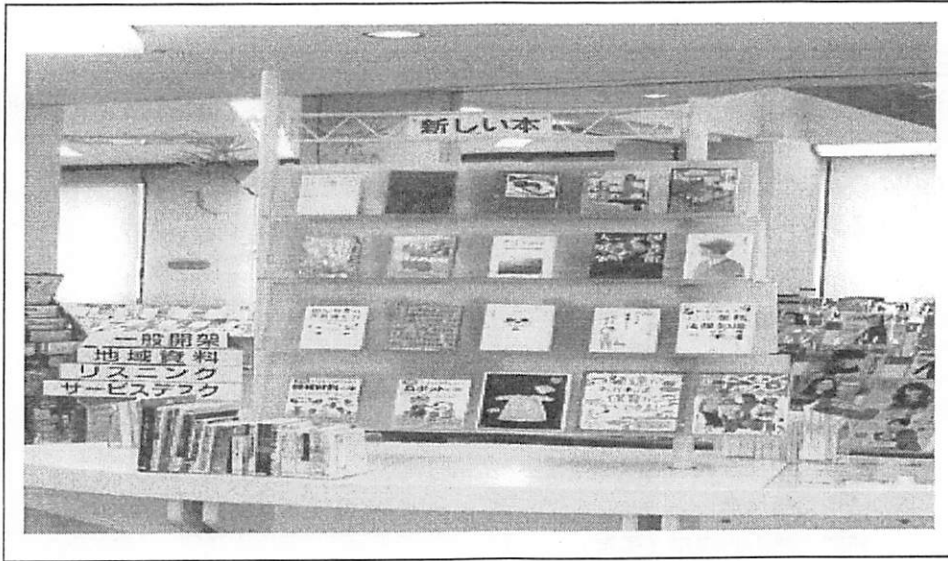
テーマ展示のブックリストを作成して配布するとともに、館内フロアでのファイル置きやHPへの掲載により利用者がいつでも閲覧可能にすることで、利用者と本との出会いの機会とする。

《本市：テーマ展示「話題の本棚」コーナー》



C. 市民へのアプローチ強化策
I. 本と出会える書架づくり

《本市：新着図書コーナー》



3. 展示手法の工夫（関心を引くポップ表示や表紙の見える展示など）

《浦安市図書館：特集棚の表示》



4. 図書館職員による本と利用者との接点づくり

利用者が望んでいた本を手にするためには、職員の対応も大切です。利用者と本、資料、情報をつなぐカウンター対応をします。

II. 本と人とをつなぐ多様な事業の実施

- ・多様な事業を行うことで、図書館の所蔵する本、資料等と利用者をつなげます。

1. 主催事業

- ・多様なセミナー、講座、講演会等を行い、利用者と共に、図書館、本、読書の持つ意義や役割を考えます。
- ・また、市民の興味や関心の幅を広げて、読書への入り口となります。
- ・市民講師による講座の実施など、市民が学習したことを発揮できる場とします。

事業実績 文芸講演会
歴史文学探訪
しおがま物語講演会
大人のための聴く文学館「宮沢憲治」の世界
文学講座「宮沢憲治は俳句を詠んだか」
俳句で街歩き
新聞の読み方講座（予定）

参考事例 長野県塩尻市 「信州しおじり 本の寺子屋」の連続開催
生涯読書を推進するため、本にまつわる講演会、講座を連続開催し、集う人々の知恵の交流を促し、本の持つ可能性を広く深く考える機会としている。月2回程度開催。H29「江戸と本屋と本づくり」「行きつ戻りつ絵本創り」「もう一度文学と出会うために」
千代田区日比谷図書文化館 「日比谷カレッジ」の連続開催
10のシリーズで講座を行い、利用者の興味や関心の幅を広げている。1)歴史文化 2)本、作家と出会う 3)新しい図書館学 4)ビジネススキルアップ 5)美術 6)音楽芸能 7)ジブンミガキ等。

《本市：芥川賞作家を招いての文芸講演会》



2. 共催事業、連携事業

- ・関係する施設、庁内関係部署、ボランティア、市民講師など、多様な主体との共催事業、連携事業を行います。
- ・関連する本の展示やブックリストの作成配布等を行います。

事業実績 シオーモ絵本まつり（ふれあいエスプ塩竈、杉村淳美術館との共催事業）

絵本デビュー事業（保健センターとの連携事業）

夢応援未来塾（総務部総務課との連携事業）

「現役スペシャリストに教えてもらおう！～保健福祉の仕事～」28.9

杉村淳美術館特別展関連展示（杉村淳美術館との連携事業）

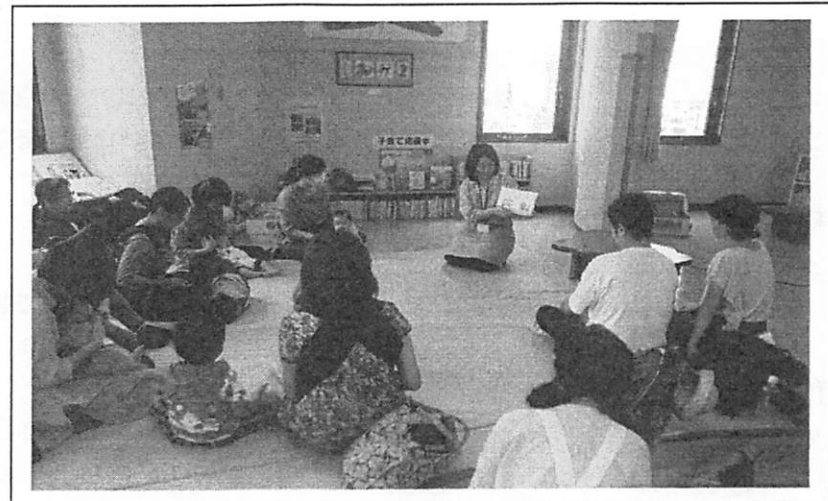
《本市：

シオーモ絵本まつり》



《本市：

絵本デビュー事業》



3. 館外での事業

図書館外においても、学校、地域等に向いて図書館の魅力や事業を案内します。

(1) 保育園、小学校、中学校

お話し会、絵本紹介、ブックトーク等

(2) 出前授業

Ⅲ. カウンター対応の充実

利用者と本、資料、情報をつなぐため、次のようなカウンター対応をします。

1. 利用者と図書館、関連施設等をつなぐ窓口案内

カウンターへの「読書相談コーナー」の表示、利用者への声掛け等により、相談しやすい雰囲気をつくり、施設、書架、行事、イベント等の案内をします。

2. 貸出サービス等の実施

貸出登録、貸出、返却、リクエスト受付を行います。

3. 利用者が求める本、資料の的確、迅速な提供

ア. 図書館システムでの検索 イ. 宮城県内横断検索システムでの検索 ウ. 書架への案内

4. 本との出会いの提供

利用者の求めに応じて、また、本を探している様子を見ながら、本の紹介やブックリストの配布等を行い、利用者と本との出会いを助けます。

ア. 図書館だよりの配布

①しおかぜ（一般書） ②プクちゃんつうしん（児童書） ③本の杜（ヤングアダルト）

イ. ブックリストの配布

5. レファレンスサービスの実施

本、資料、情報の集積する場所として、利用者と本、資料、情報をつなぐレファレンス対応をします。

【レファレンスサービス】

資料や情報を求めている利用者に対して、職員が求められている資料や情報を提供、提示すること等により援助すること

ア. 利用者の調べものを支援する

①蔵書図書館を調査する「所蔵調査」

②著名人の経歴、業績等事実を掲載している資料を調査する「事実調査」

③利用者の調査に活用できる資料の有無を調べて紹介する「文献紹介」

イ. 利用者が自ら調べることができる環境づくり

①調べ方案内である「パスファインダー」の作成と配布

あるテーマに関する情報収集手順をまとめた「パスファインダー」の作成と配布

②レファレンスブックの常備

③「調べものリンク集」のHPへのアップ

④「データベースの収集と提供」

ウ. レファレンス事例集等記録の作成

IV. 市民に届く情報発信


今後利用者の増加を図るためには、図書館を利用しない人たちに、図書館が有意義な施設であることが伝わるのが大切であり、訴求力の高い情報発信を様々な手段で行います。

1. 市民図書館ホームページの見直しについて

- 情報の収集がインターネットを通して行われる現在、利用者と図書館とをつなぐ重要な接点である図書館のホームページの更なる充実を図る。

《本市：ホームページ》

塩原市民図書館
しほがわしんりょくたん



読書推進事業「読書検定」の様子はコチラ
読書検定実施要領（A）（B）（C）（D）（E）（F）（G）（H）（I）（J）（K）（L）（M）（N）（O）（P）（Q）（R）（S）（T）（U）（V）（W）（X）（Y）（Z）

塩原市民図書館をご利用の皆様へ

《図書館からのお知らせ》

【図書館利用者アンケートの結果について】
図書館では、利用者のみなさまにおきましてアンケート調査を実施しました。その結果をご報告します。
[「平成29年度塩原市民図書館利用者アンケートへ」](#)

【利用登録の更新をお願いします】
図書館では、利用登録が5年ごとに変更の手続きをお願ひしています。更新手続きをしないままですと、ホームページからの予約ができなくなったり、貸出サービスが利用できなくなったり、更新手続きの際は、利用者カードと住所等の分かる身分証（免許証・住民票など）が必要となります。また、住所などに変更がある場合は、更新手続きが必要です。パソコンで更新の手続きをお願いします。

【塩原市民図書館の公式フェイスブックページを公開しています】
塩原市民図書館で行われるイベントやさまざまなお知らせなどの情報について、フェイスブックでも随時みなさまにご提供しています。ぜひのぞいてください。
[▶ 塩原市民図書館公式フェイスブックページへ](#)

【ご利用の際は、以下の点にご注意ください】

1. 地震の強い揺れを感ずる場合は、本館からすぐに離れて、安全な場所へ避難してください。
CD・DVD・ビデオなどを閲覧中の際は、作業を中止していただき、安全を確保します。
2. 震動の被害物は、海津消防団が対応いたします。毎年消防団を利用した場合には、入館時に進行される震動の被害の有無を確認し、被害の被害を減らします。
3. 非常のため、館内を一掃済みしております。

【開館時間】
火曜日～金曜日 午前10時～午後0時
土曜日・日曜日 午前10時～午後0時

【休館日】
月曜日・国民の休日（休日）・毎月のお月見日
年末年始・特別整理期間（5～6月・1～2月）
開館日については、こちらをご覧ください。
【開館カレンダー】2018年4月～2019年3月

図書館より10月祭を開催しました。
「10月祭」開催しました。
【開館カレンダー】2018年4月～2019年3月

【ホームページ、お問い合わせのアドレスです】

ホームページのアドレス <http://br-shiogama.lacocom.jp>
メールのアドレス shioyama@lapoibn.jp
Webサイトによるお問い合わせは、随時ご対応させていただきます。

【2018年4月～2019年3月までの開館カレンダー】
開館カレンダー（A）（B）（C）（D）（E）（F）（G）（H）（I）（J）（K）（L）（M）（N）（O）（P）（Q）（R）（S）（T）（U）（V）（W）（X）（Y）（Z）

塩原市民図書館へのご意見
下のボタンをクリックしてください。

意見箱

〒992-8502 宮城県塩原市：〒992-8502 塩原市
塩原市民図書館 019284-2100

ア. 図書館が紹介する本にすぐいけるホームページ

- ・紹介本の情報へはトップページから多段階を要し、また、PDF であるため読みづらい。
- ・トップページからすぐいけるようにする。また、データでアップする。

イ. 図書館で行う多様な事業の情報にすぐいけるホームページ

- ・トップページからすぐいけるようにする。

ウ. 見やすく、分かり安く、新鮮で、便利なホームページ

2. 紙媒体による情報発信

各種図書館便り等により情報を発信し、利用者と本、資料とをつなぎます。

(1) 定期発行の図書館便りによる情報発信

- ・一般、児童、中高生の分野ごとに、毎月、図書館だよりを作成して、新着本の紹介、テーマ架の紹介、行事予定の案内等を行い、利用者と本をつなぎます。

名 称	対 象	時 期
『しおかぜ』	一般	毎月
『プクちゃんつうしん』	児童	毎月
『本の杜』	中高生	毎月

(2) ブックリストの作成と配布

- ・各分野で特集したテーマ架の図書について、ブックリストを作成して配布します。
- ・作成したブックリストについては、閲覧できるようにファイリングするとともに、HPへ掲載してアクセスできるようにします。

区 分	対 象	時 期
『話題の本棚』のブックリスト	一般	毎月
随時設置のテーマ架のブックリスト	一般	随時
こどもの読書週間のブックリスト	児童	定期
児童向け夏のブックリスト『おもしろレストラン』	児童	7月
中高生向け夏のブックリスト『おもしろい本』	中高生	7月
中高生向け秋のブックリスト『図書館員のイチオシ本』	中高生	10月

3. その他

- (1) 図書館利用案内リーフレットの配布 … 市民課で転入者に配布 老人クラブに配布 等
- (2) ポスター掲示箇所の拡大 … 本塩釜駅の掲示ケース 100円バスでの掲示 等
- (3) 市広報誌の活用 … テーマ架等のシリーズ化
- (4) SNS での情報発信 … フェイスブック等の活用
- (5) 市職員への情報発信

V. 市民を支援する図書館

市民のライフステージを意識しながら、世代の課題や地域の課題の解決に取り組む市民に役立つ図書館になります。

V-I. 幼児、児童と本をつなぐ

- 幼児期の子どもたちには、本を通した親子のふれあいを大切にしながら、物語の世界や本の世界とつながるようにします。
- 子どもが読書に親しむためには、それぞれの成長段階や、興味、関心に合った本を自由に選ぶことができる必要があります。新刊書からの選書により書架を充実させるとともに、長く読み継がれている本の紹介をします。

1. 幼児、児童のための書架づくり

- 絵本、読み物、知識の3つに分類して配架し、それぞれの図書の充実に努める。
- 本に対する興味、関心を喚起するためテーマ架を設置する。

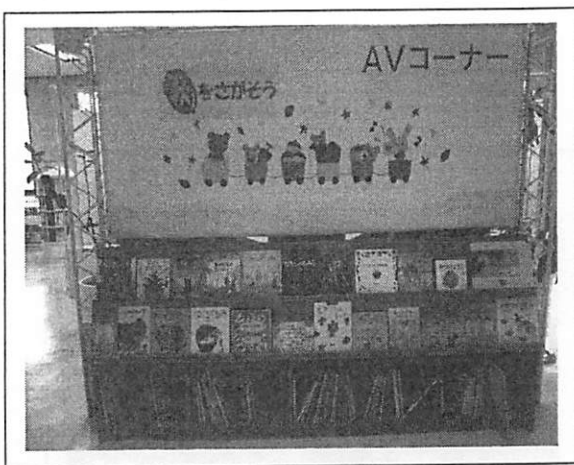
2. 多様な事業により幼児、児童と本をつなぐ

本を通した親子のふれあいを大切にしながら、幼児期から本に親しむ機会が持てるように取り組む。
えほんデビュー事業、おはなし会、紙芝居、パネルシアター、人形劇、子ども映画会、
ストーリーテリング 等
子どもの読書を支える大人のための講座等

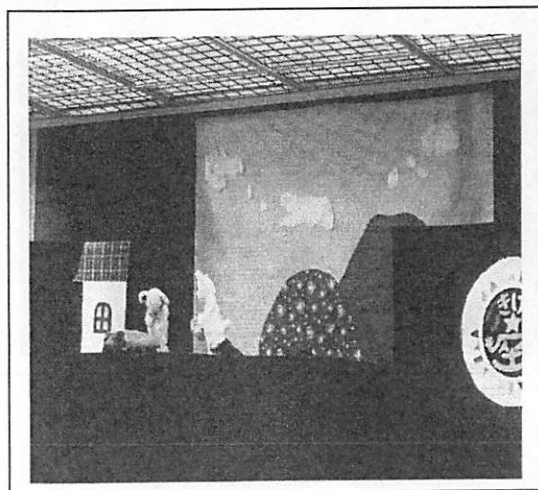
3. 図書館利用を促進する取組み

- 読書記録帳、図書館パスポート、図書館見学会の実施、一日図書館長の実施等により、児童の図書館利用を促進する。

《児童書：テーマ書架》



《人形劇》



V-Ⅱ. 中学生、高校生と本をつなぐ（ヤングアダルト）

- ・体と心が大きく育ち、子どもから大人へと成長する過程にある中学生、高校生世代に、様々な図書を提供するとともに、多様な事業を行うことで本とつながります。

1. ヤングアダルトのための書架づくり

- ・常設書架の他、様々な分野の本に対する興味、関心を喚起するため、テーマ架を設置します。
- ・また、進路を考える本コーナーや学校案内本コーナーを設置します。

2. 多様な事業によりヤングアダルトと本をつなぐ

(1) 夢応援未来塾

- ・保育士や幼稚園教諭などの専門職等から仕事の内容や体験談を聞いたり、その職業に必要な資格の取り方を聞く

(2) 職場体験の受入

- ・10月から11月頃に、市内中学生の職場体験を受け入れる。おはなし会やブックちゃん号の書架整理の手伝いや、ビブリオバトル体験、ポップづくりなどを体験する。

(3) 図書館さんぽ

- ・視聴覚室でDVDを鑑賞し、自由にトークする

(4) 発表の場としての図書館

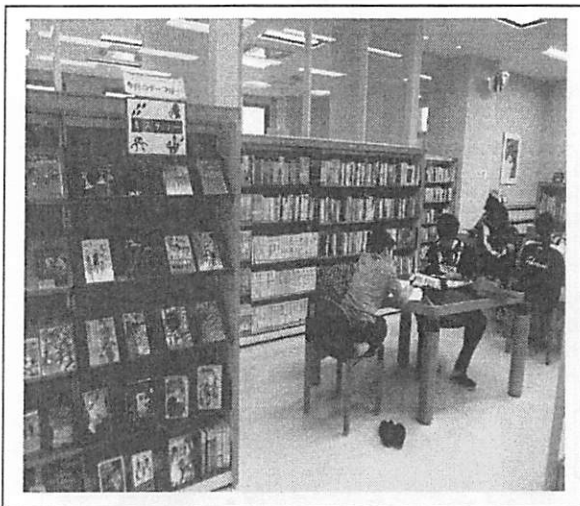
- ・イラスト募集

中高生からイラストを募集し、応募のあったイラストを、館内や図書館のおたより等に掲載する。

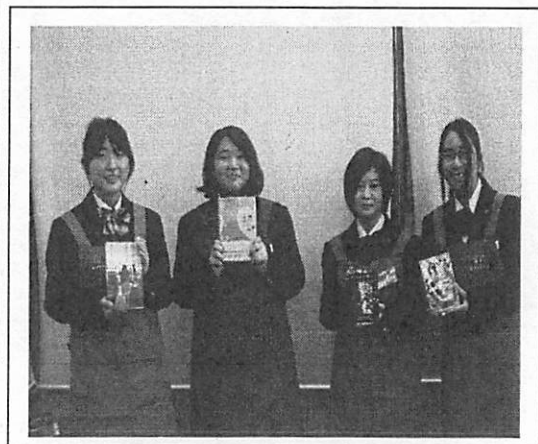
(5) ビブリオバトル

- ・本を紹介するコミュニケーションゲームであるビブリオバトル。一人一冊お気に入りの本を持ち寄って紹介しあい、チャンプ本を決定することを通して、本への思いを共有したり、新しい本の世界を発見したりを体験できる。

《ヤングアダルト：テーマ書架》



《ビブリオバトル》



V-Ⅲ. 小中学校との連携

- ・市民図書館が乳幼児期の子どもたちに対して行っている、本との関わりや読書活動の土台を築く取り組みを、小学校訪問等を行い継続したものとしていく。

1. 小学校訪問

- ・小学校を訪問し、市民図書館の紹介を行う。
- ・ブックトークによる本の紹介、ストーリーテリングによる物語や本の世界への誘いを行う。

2. 学校団体貸出

- ・学校での学習のため、学年・学級・教科など、団体としての活用の際に、本を貸し出す。

平成 29 年度実績

区 分	貸 出 冊 数
小学校（7 校）	2,597
中学校（1 校）	301

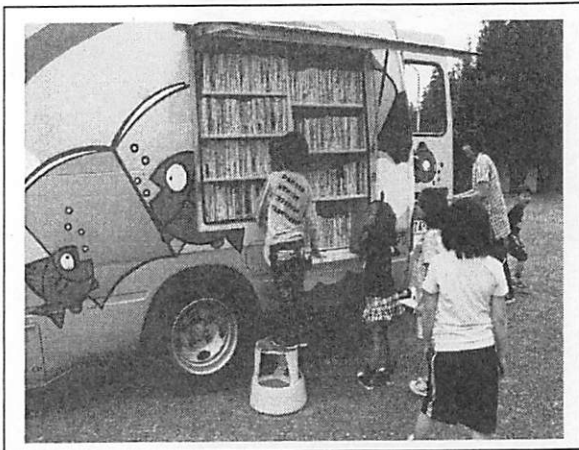
3. 移動図書館

- ・移動図書館『ブクちゃん号』により、二小、三小、杉小、月見小を巡回し貸出を行う。

4. 学校図書館支援

- ・市民図書館職員と各小学校司書教諭との合同勉強会として、「市民図書館学校図書館担当者スキルアップ研修会」等を実施する。

《児童書：移動図書館『ブクちゃん号』》



《学校図書館担当者スキルアップ研修会》



V-IV. 世代の課題等へ対処する市民への支援

市民は、各々のライフステージを生きる中で様々な課題に接しています。少子化、高齢化、経済格差、情報化の深化など、増々複雑化する社会に生きる市民に役立つ図書、情報を提供します。

このため、行政課題とも連動させながら種々のテーマを設定し、テーマ架づくり、ブックリストの作成等を行います。

市民図書館の実績

随時にテーマ設定を行う『特設コーナー』

時 期	内 容
26.9	就職応援
26.10	いきいきシニア世代
27.2	就職応援
27.6	育児応援
27.6	くらしの法律
28.8	就職応援
29.1	安心できる相続
29.1	女性と子どものトラブル解決
29.10	介護サービスを受けるためのはじめの一步
29.10	発達障害を理解する

《本市：介護、発達障害をテーマにした特設コーナー》



V-V. 地域資料の収集と活用

地域資料の収集、収蔵を行い、塩竈の歴史をたずね、現在を知り、未来を考える拠点となります。地域資料や行政資料について、塩竈の歴史、文化、産業、風土、人物等網羅的な収集を行います。また、歴史や文化に関する地域資料はまちづくりの源であり、歴史講座等を行って収集した地域資料等と市民をつなげます。

1. 地域資料の活用

歴史や文化に関する地域資料はまちづくりの源であり、歴史講座等を行って収集した地域資料等と市民をつなげます。

《本市：歴史文学探訪》



《本市：俳句で歩こう 塩竈はいく ing—塩竈名所めぐり塩竈》



VI. 図書館事業の基盤となる蔵書構築

市民図書館では年間 4,000 冊ほどを購入している。

市民ニーズを踏まえながら、図書館事業を支える蔵書構築や資料収集を進める。

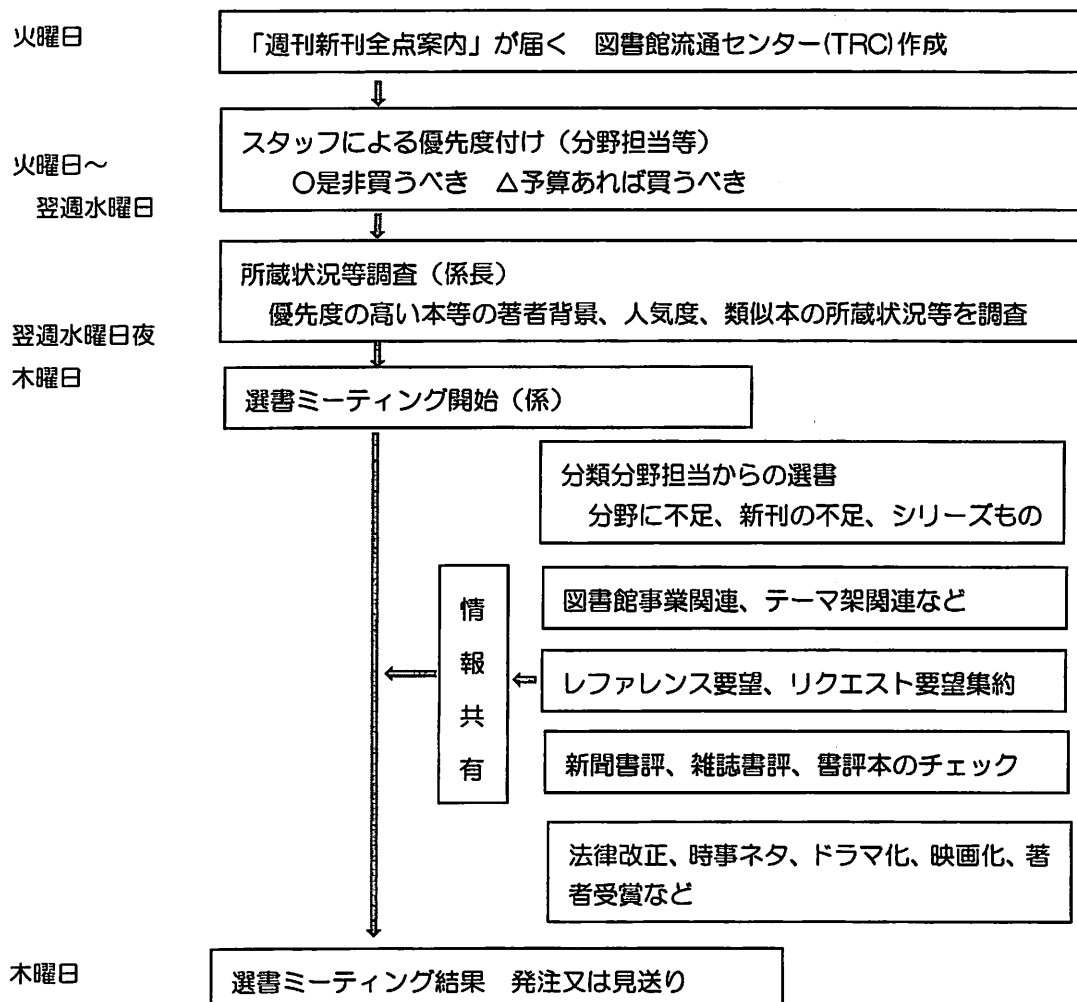
1. 購入冊数について

- ・年間、一般書で 3,000 冊、児童書で 1,000 冊を購入している。
- ・現在、みんなの本の係、こどもの本の係ともに、毎週選書ミーティングを開いており、毎回数十冊を選書している。

区 分	年度末所蔵数	年間購入数	年間除籍数
本館一般書	152,350	3,161	3,231
本館児童書	63,061	1,068	178

2. 現在の選書方法(一般書の選書)

※児童書もほぼ同様



Ⅶ. 居心地の良い図書館づくり

- ・図書館は、幅広い世代の市民が、気軽に訪れることのできる施設であり、誰もが使えるみんなの場所である。本に囲まれた知の香りのする中で憩うことができ、人と本、人と人が心地よくつながる図書館としていく。

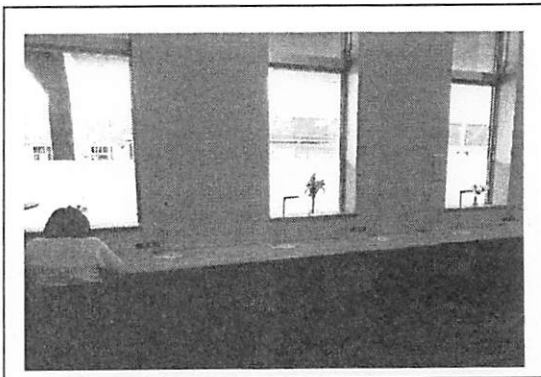
1. 人と本との出会いがある書架フロアー

- ・書架の中に読書席を配置し、本の中に人がいる状態とします。(継続)
- ・本と出会える書架づくりを行い、人と本とを心地よくつなげます。

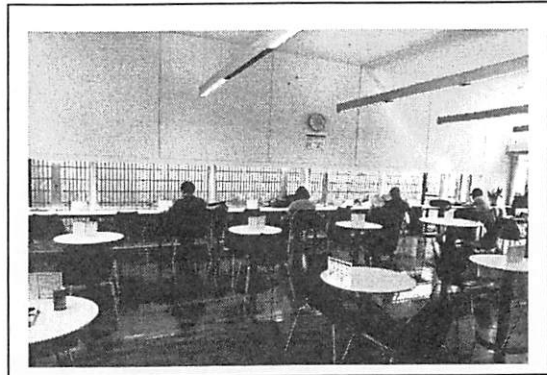
2. ゆったりとくつろげる読書席

- ・図書館利用者の滞在時間は長くなっており、読書席を増やす傾向にあります。
- ・読書しながらゆっくり過ごせるように、座り心地の良い椅子を更に導入します。
- ・くつろぎコーナーの設置。

《紫波町：窓に向かう読書席》



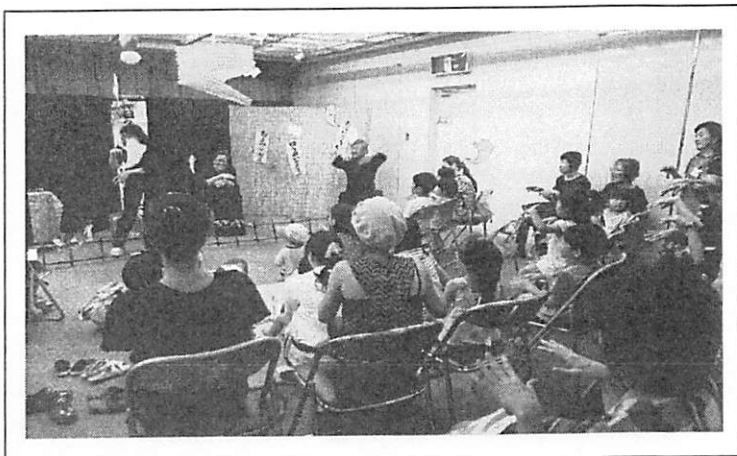
《浦安市：カフェラウンジ》



3. 市民の活動の場所としての図書館として

- ・図書館は、市民が身に着けたことを活かす場所でもあり、ボランティア団体によるイベント、また、市民が講師になるセミナーの開催など、市民が活躍できる場所となります。
- ・多様な事業を通して、ボランティア同士のつながりや、本を介したコミュニケーションを育くむ場所となります。

《本市：ボランティアまつり》



4. 居心地の良いくつろげる大人の居場所づくり

- アート作品を展示できるギャラリースペースなど、大人のくつろげる居場所としての図書館を目指します。

5. 駐車場利用時のストレス軽減

- 利用者アンケート調査では、多くの方が駐車場サービスの充実を求めており、1時間程度はストレスなく駐車場が利用できるように改善する必要があります。
- 一方で、100円バスに図書館利用案内やイベント情報を掲示するなど、利用者を100円バス利用に誘導する取組みを進めます。

6. 建物補修

- 雨漏りが生じており、建物の補修工事が必要です。

D. 図書館サービス実施に係る手順、方法の蓄積

1. 手順、方法の蓄積についての考え方

(1) 日頃の実務サイクルの中での手順、方法の蓄積と利用者への還元

- ・図書館サービスを利用者への訴求力を保って実施していくため、図書館サービス実施に係る方法、手順を蓄積して専門性を高め、その成果を利用者へ還元する。
- ・また、運営ノウハウの蓄積は、特定の時期に行うのではなく、図書館サービスの実務サイクルの中で行われるようにする。

(2) 各業務間の連続性を保つ

- ・図書館で行う、蔵書構築、選書、書架づくり、多様な事業の実施、情報発信、カウンター対応の各業務は関連性が高く、連続性を保って行う。例えば、テーマ展示と選書、多様な事業展開、情報発信、お薦め本のカウンター対応を一体性をもって行う。

2. 各業務における手順、方法の蓄積手段

(1) 書架づくりに係る手順、方法の蓄積手段

項目	作成物	実施済	今後実施
1.テーマの選択	テーマ展示年度計画	○	
2.テーマ展示の実施	企画意図説明書・作成	○	
	企画意図説明書・ファイル綴じ	○	
	企画意図説明書・HP掲載	○	
	ブックリスト・作成	○	
	ブックリスト・ファイル綴じ	○	
	ブックリスト・HP掲載	○	

(2) 多様な事業の実施に係る手順、方法の蓄積手段

△：実施しているが改善を要するもの

項目	作成物	実施済	今後実施
1.主催、共催、連携共通	連携先、講師リストの作成		○
2.主催、共催事業	年度事業計画の作成	○	
	事業計画書の作成	○	
3.連携事業	連携事業のしくみの作成	△	

(3) カウンター対応に係る手順、方法の蓄積手段

項目	作成物等	実施済	今後実施
1.カウンター業務全般	カウンター業務マニュアルの作成	○	
2.貸出サービス等の実施	カウンター業務マニュアルの作成	○	
3.本等の迅速な提供	図書検索等技術の訓練	○	
4.本との出会いの提供	図書館だより、ブックリスト	○	
5.レファレンスサービス	対応内容のノート等への記録	○	
	ケース報告による共有化	○	

D. 図書館事業の実施に係る手順、方法の蓄積

	レファレンス事例集の作成	○	
	パスファインダーの作成		○
	レファレンス研修への参加	△	
	調べものリンク集のHPへのアップ	○	
	データベースの収集と提供		○

(4) 情報発信に係る手順、方法の蓄積手段

項 目	作 成 物 等	実施済	今後実施
1. ホームページの見直し	見直し案の作成		○
	定期的な評価と改善		○
2. 各種図書館だよりの作成 『しおかぜ』『プクちゃんつうしん』『本の杜』	作成	○	
	配布	○	
	ファイル展示	○	
	HP掲載	△	
3. ブックリストの作成 『話題の本棚』『随時のテーマ架』『読書週間ブックリスト』『夏のブックリスト』『秋のブックリスト』『図書館員のイチオシブックリスト』	作成	○	
	配布	○	
	ファイル展示	○	
	HP掲載	△	

(5) 地域資料の収集と活用に係る手順、方法の蓄積手段

項 目	作 成 物 等	実施済	今後実施
1. 地域資料の収集	地域資料収集手順の作成	△	
2. 収集と活用に係る関係機関等との連携 歴史、文化 産業 etc			○
3. 地域資料の活用 地域の特徴を発信するコーナー展示 貴重書庫の展示 タイムシップ塩竈の活用 レファレンス 講座 ワークショップ		○	

(6) 蔵書構築に係る手順、方法の蓄積手段

項 目	作 成 物 等	実施済	今後実施
1. 資料収集	収集基準の更なる文書化		○
2. 蔵書管理のメンテナンス	メンテナンス基準の文書化		○
3. 利用者要望	利用者希望の文書化		○

市民図書館の事業運営のあり方・概念図

多くの市民に図書館を利用していただくために

